

## 歯科・口腔外科後期研修プログラム

### I. 目的と特徴

歯科・口腔外科では、歯科部門と口腔外科部門の2部門の後期研修プログラムがある。歯科部門では、歯科医師臨床研修修了者が高齢社会に対応できる歯科医師として自立するために、入院患者を対象とした一般歯科診療、口腔機能・衛生管理、および摂食嚥下リハビリテーションに関する高度な専門的知識と技能を修得することを目標とする。一方、口腔外科部門では、歯科医師臨床研修修了者が顎口腔領域の医療を担当する歯科医師として自立するため、口腔外科に関連する高度な専門的知識と技能を修得することを目標とする。さらに医学部附属病院での研修という特性を最大限に生かし、他科との連携による臨床研修を通じ、全人的医療の視点に立ち、医療全体の中での歯科医療を研修する。具体的には、摂食・嚥下リハビリテーション、緩和ケアチーム、栄養サポートチーム（NST）での活動に積極的に参加することで、これらのチーム医療のスキルと知識の向上を目指す。

当科での後期研修により、日本歯科医学会に所属する複数の専門分科会専門医の取得が可能である（資格取得5～7年）。歯科部門では、日本老年歯科医学会の認定医、専門医、日本摂食嚥下リハビリテーション学会の認定士の取得のための臨床および研究に関連した経験を積む。口腔外科部門では、日本口腔外科学会、日本顎関節学会などの認定医、専門医の取得のための臨床および研究に関連した経験を積む。また、歯科・口腔外科学の大学院への進学も可能である。

### II. プログラム責任者・研修統括者

【プログラム責任者】吉田光由（歯科・口腔外科 教授）

（日本老年歯科医学会指導医・日本補綴歯科学会指導医）

【研修統括者】佐藤公治（歯科・口腔外科 准教授）

（日本口腔外科学会・日本顎関節学会指導医）

### III. 運営指導体制および指導医数

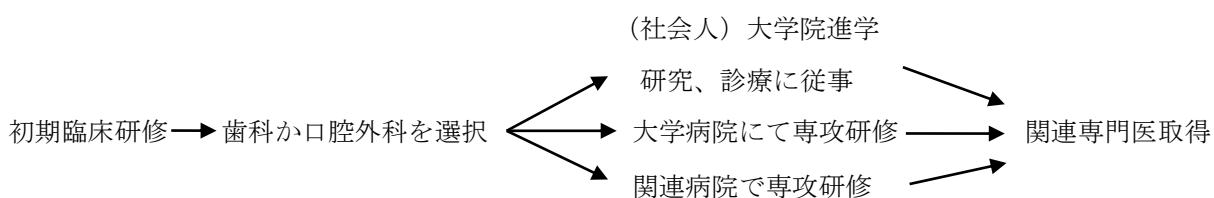
教授1名、准教授1名、助教4名

### IV. 診療実績（平成29年度）

外来患者	1日平均 152.1人
入院患者	年間実数 467人
手術	手術室 286件
	外来 3,050件

### V. 研修カリキュラム

#### 〔卒後教育〕



※他施設での歯科医師臨床研修修了者については要相談

#### 〔研修スケジュール〕

診療チームの一員として外来、入院診療にあたる。

口腔外科では、手術の術者、助手としてまた入院患者の主治医として専門医取得に必要な経験を積む。

**VI. 窓口担当者**

吉田光由（教授）

TEL : 0562-93-2260

FAX : 0562-95-1805

e-mail : kenshu-1@fujita-hu.ac.jp

**藤田医科大学病院**

科	コース	年次										備考	
		3	4	5	6	7	8	9	10	11以降			
歯科・口腔外科	（募集人数：2～3名／年） 大学院コース	大学院1年	大学院2年	大学院3年	大学院4年	学位取得	専門医取得も可能な者は必要条件を満たせば 臨床研修継続の者は必要条件を満たせば	に大学病院あるいは研修協力病院 （専門医、指導医取得）	にて研修（専門医、指導医取得）	（専門医、指導医取得）	（専門医、指導医取得）	（専門医、指導医取得）	①大学院にて学位取得を優先、以後臨床研修を継続し専門医を取得 ②研究を優先し臨床研修も継続 ③（社会人）大学院生 ④成田記念病院 ⑤日本口腔外科学会専門医、日本顎関節学会専門医、日本小児歯科学会専門医、日本老年歯科学会専門医など ※他施設での歯科医師臨床研修修了者については要相談
	（募集人数：2～3名／年） 専門医コース	（専攻研修） 大学院	（専攻研修） 大学院	（専攻研修） 大学院	（専攻研修） 大学院	（専攻研修） 大学院	（大学病院あるいは研修協力病院）	専門医として大学病院あるいは研修協力病院にて研修（指導医取得）	専門医として大学病院あるいは研修協力病院にて研修（指導医取得）	専門医として大学病院あるいは研修協力病院にて研修（指導医取得）	専門医として大学病院あるいは研修協力病院にて研修（指導医取得）	①大学病院での専門的臨床研修を行い専門医を取得、その後希望者は学位取得 ②専門分野の臨床研修を行う ③3年目、4年目は医学部助手（定員外）、5年目以降は医学部助教（定員外） ④同上 ⑤同上 ※他施設での歯科医師臨床研修修了者については要相談	